

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第3回 鈴鹿市立清和小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年10月11日(金) 15:00 ～ 16:00

2 場 所 清和小学校図書室

3 あいさつ(学校長、委員長)

4 協議内容

(1) 学校の様子について

- 校長から、学校だよりをもとに学力学習状況調査結果について説明
- 児童質問紙の結果をもとに地域・保護者、学校ができることについて考えるグループワークを実施。
- グループワークから
 - ・自己肯定感を高めるために、友達同士で認め合う手紙を書き合うなどの取組を行う必要がある。
 - ・ほめないと子どもは伸びていけないため、ほめることが大切。
 - ・家庭では、～しなさい、といった指示が多くなってしまふ。家庭で子と親がどんなコミュニケーションをとっているかを交流できるとよい。
 - ・学校での出来事を、保護者が知らないことが増えている。学習の連絡が、連絡帳から Chromebook になったことで見えにくくなった部分もある。一斉メールなどを利用することで改善できないか。
 - ・Chromebook を使う目的を明確にすることが大切。

(2) 地域学習について

- 今後講師への依頼を行う。
 - ・地域の寺社から歴史、祭り等について聞く。
 - ・地域と戦争との関わりを聞く。
 - ・地域の店舗の創立やあゆみについて聞く。

(3) 鈴鹿市教育委員会事務局 CS アドバイザーより

- グループワークを通して、話し合う試みは良い。今後も、清和小学校のもつ課題について話し合いを重ねることが大切である
- 保護者に学校の情報が伝わっていないのが課題である。紙媒体を利用して発信を行うことも大切。
- 学校からの情報があれば、子どもたちをほめる機会が増え、自己肯定感の向上にもつながる可能性がある。
- 学力と関わり、清和の子どもたちは、学校図書館に行く割合が高い。読書習慣がついていることは良い。半面、読書時間が少ない子どももいる。習慣づいていない子どもに対する取組を進めると、子どもたちの力の向上につながる。

(4) 連絡事項

- ・ 第4回学校運営協議会 10月23日(水)
校区全体の拡大学校運営協議会。会場は清和公民館。
- ・ 11月12日(火)授業参観